

近畿管内における農林水産物・食品の輸出の状況と取組



令和8年5月
農林水産省
近畿農政局

目次

1	近畿の主な輸出品目マップ	1
2	近畿農政局管内の港・空港からの輸出の状況	2
(1)	国別・地域別の輸出額	3
(2)	－ア 品目別の輸出額	4
(2)	－イ 品目別輸出額の主な増減	5
(3)	港・空港別の輸出額	6
3	近畿農政局管内における輸出の取組	
(1)	GFP（農林水産物・食品輸出プロジェクト）【登録状況・訪問診断】	7
(2)	輸出事業計画の認定状況	8
(3)	商談会準備セミナー・ワークショップ、加工食品輸出商談会の開催	9
4	輸出促進関連の補助事業による支援	10
5	近畿農政局管内の優良事業者の表彰	11
6	輸出証明書等の発行	
(1)	近畿農政局管内で発行している輸出証明書	12
(2)	近畿農政局管内における各種証明書の発行実績	13

1 近畿の主な輸出品目マップ

兵庫県

<主な輸出品目>

米、淡路島たまねぎ、朝倉山椒、丹波黒大豆加工品、神戸ビーフ、素麺、日本酒、牡蠣、兵庫のり、鶏卵、加工食品（調味料等）

<主な輸出先>

香港、台湾、シンガポール、マレーシア、EU、米国、UAE

大阪府

<主な輸出品目>

泉州水なす、ぶどう（デラウェア）、ワイン、茶、加工食品（菓子）、清涼飲料水

<主な輸出先>

香港、マレーシア、シンポール

和歌山県

<主な輸出品目>

桃、みかん、柿、梅、ぶどう山椒、日本酒、梅酒、加工食品（果実加工品、調味料等）、水産物

<主な輸出先>

香港、台湾、中国、タイ、マレーシア、シンガポール、ベトナム、EU、米国



京都府

<主な輸出品目>

宇治茶、牛肉（Kyoto Beef 雅）、青果（京野菜、いちご、梨等）、日本酒、加工食品（菓子、調味料）、水産物（さわら、いわし等）

<主な輸出先>

香港、台湾、中国、韓国、シンガポール、マレーシア、ベトナム、タイ、欧州、米国

滋賀県

<主な輸出品目>

近江牛、米、近江の茶、湖魚、日本酒、加工食品（調味料等）

<主な輸出先>

香港、台湾、タイ、シンガポール、フィリピン、米国、EU等

奈良県

<主な輸出品目>

柿、茶、いちご、加工食品（素麺、醤油等）、日本酒、リキュール、切り枝、金魚

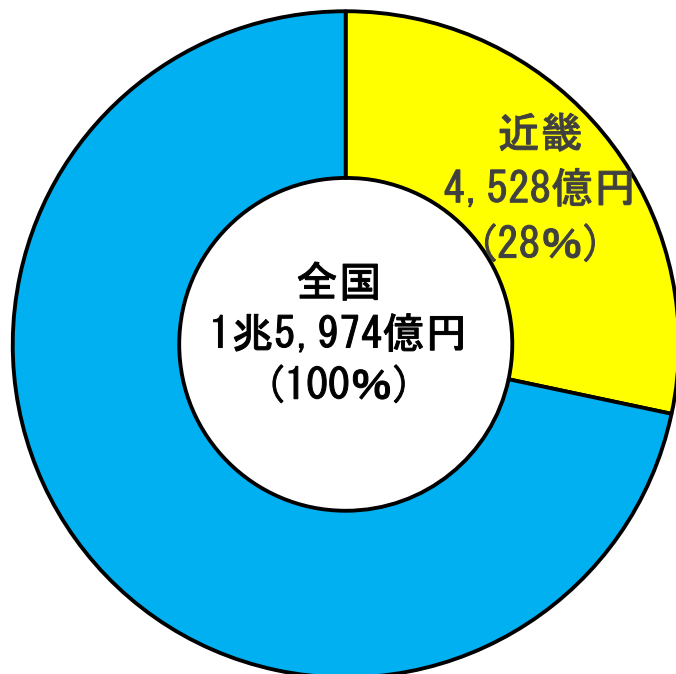
<主な輸出先>

香港、台湾、タイ、米国、EU（フランス等）、中国、韓国、ベトナム

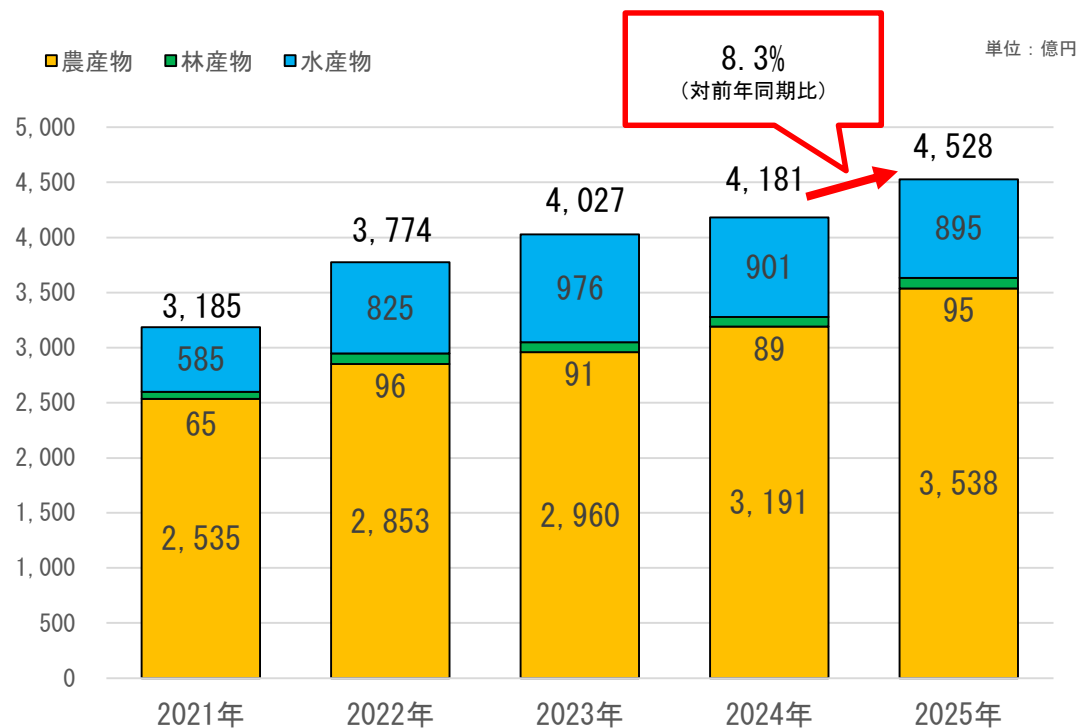
2 近畿農政局管内の港・空港からの輸出の状況

- 近畿農政局管内（滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県の2府4県）の港・空港から輸出された農林水産物・食品の輸出額は4,528億円と前年同期比8.3%の増加となった。

農林水産物・食品の輸出額（2025年）



近畿農政局管内の港・空港からの輸出額の推移



出典：「農林水産物・食品の輸出実績」（少額貨物を含まない）
（注）近畿農政局管内からの輸出額は貿易統計をもとに近畿農政局で作成

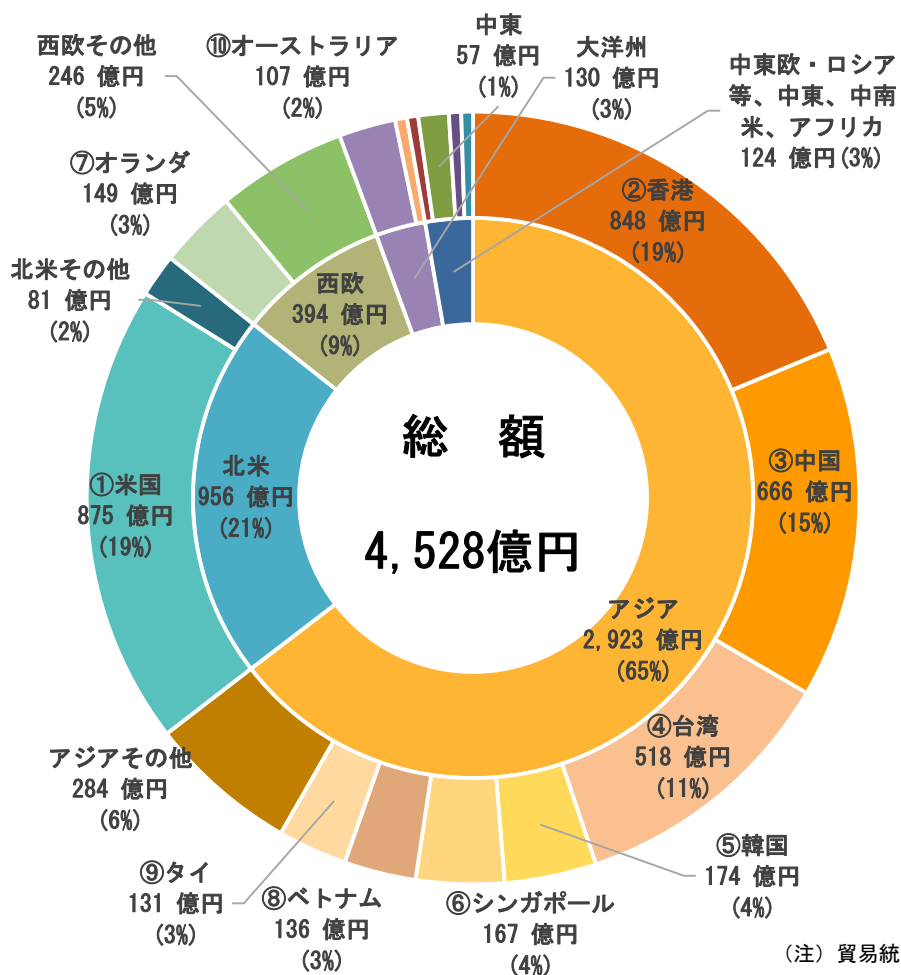
2 近畿農政局管内の港・空港からの輸出の状況



(1) 国別・地域別の輸出額

○ 2025年の国別・地域別の輸出額は、アジアが約7割、北米が約2割を占め、各国・地域別の輸出額では、米国が約875億円(19%)と最も大きく、香港(約848億円、19%)、中国(約666億円、15%)、台湾(約518億円、11%)と続く。

国別・地域別の内訳 (2025年1～12月)



主要な国・地域への輸出額の動向

単位：百万円

地域	国	2025年1～12月の輸出額	割合
アジア		292,319	64.6%
	②香港	84,761	18.7%
	③中国	66,574	14.7%
	④台湾	51,754	11.4%
	⑤韓国	17,405	3.8%
	⑥シンガポール	16,694	3.7%
	⑧ベトナム	13,624	3.0%
	⑨タイ	13,141	2.9%
	アジアその他	28,365	6.3%
北米		95,586	21.1%
	①米国	87,510	19.3%
	北米その他	8,076	1.8%
西欧		39,438	8.7%
	⑦オランダ	14,874	3.3%
	西欧その他	24,564	5.4%
大洋州		13,004	2.9%
	⑩オーストラリア	10,731	2.4%
	大洋州その他	2,272	0.5%
中東欧・ロシア等		2,122	0.5%
中東		5,734	1.3%
中南米		2,345	0.5%
アフリカ		2,228	0.5%
合計		452,777	100.0%

(注) 貿易統計をもとに近畿農政局で作成

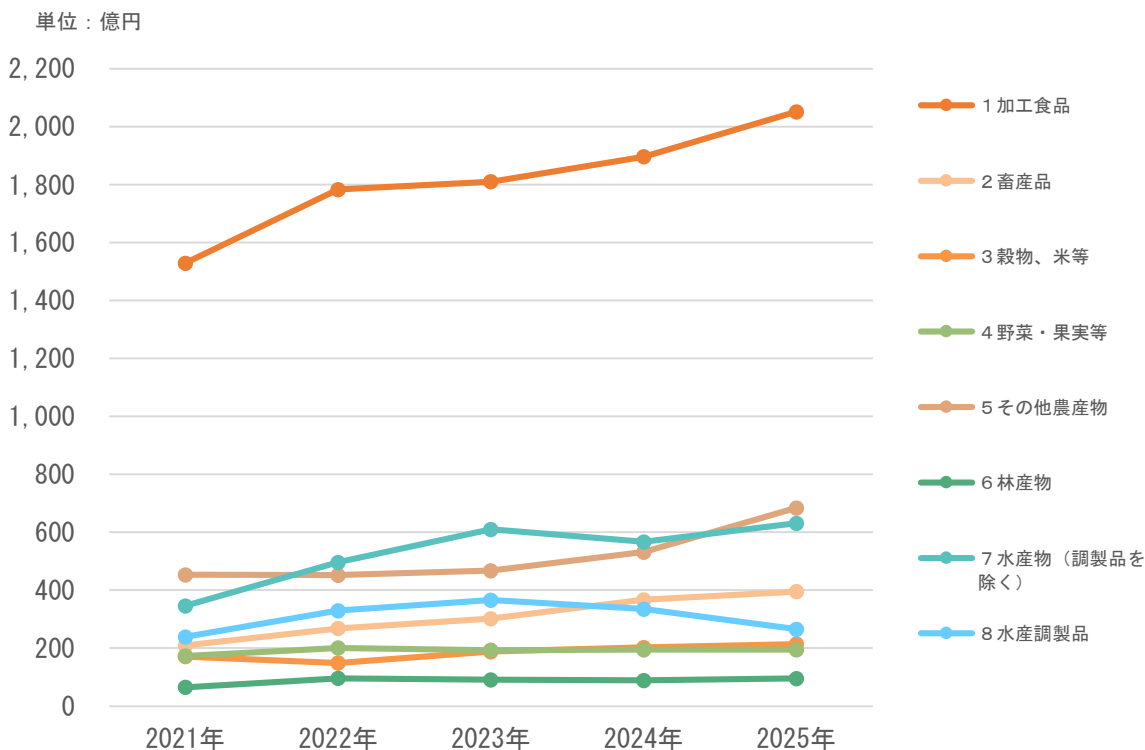
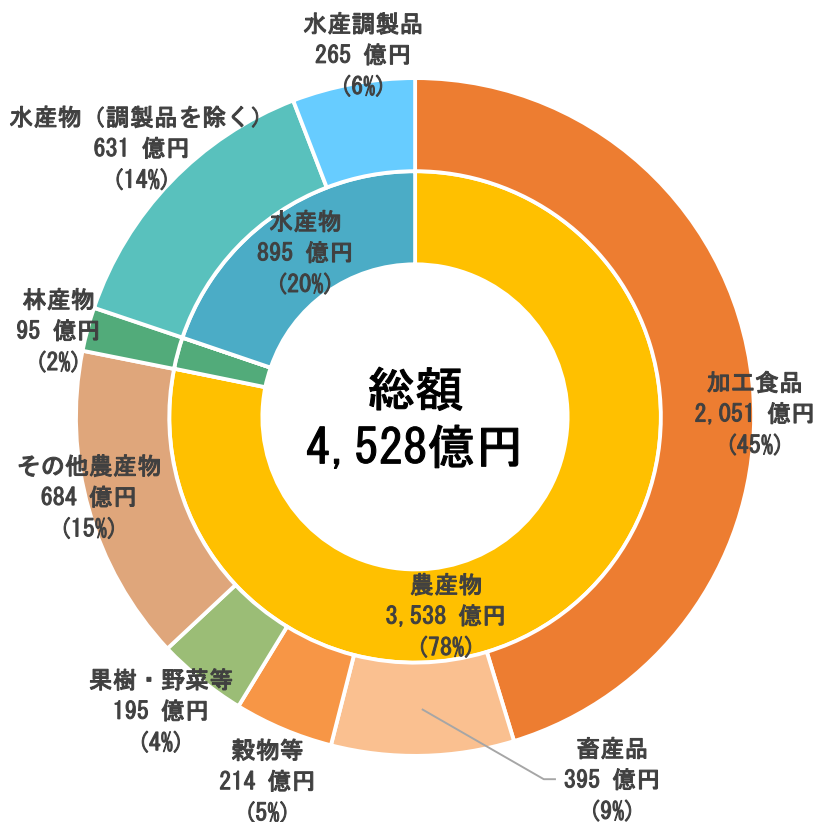
2 近畿農政局管内の港・空港からの輸出の状況

(2)ーア 品目別の輸出額



- 2025年の品目別の輸出額は、農産物が約8割を占めている。
- 特に加工食品が45.3%、続いてその他農産物（緑茶、花き等）が15.1%、水産物（調製品以外）が13.9%と多い。

品目別の内訳（2025年1月～12月）



(注) 貿易統計をもとに近畿農政局で作成

2 近畿農政局管内の港・空港からの輸出の状況

(2)ーイ 品目別輸出額の主な増減

- 農産物及び林産物は、全体として昨年より増加しており、特に緑茶は約98%増加している。
- 水産物は、昨年より減少。特に、水産調製品のうち、ホタテ貝加工品は約40%減少している。

近畿農政局管内の港・空港からの品目別輸出額

単位：億円

品目		2025年	前年増減比 (%)	2024年	
農産物	畜産物	394.5	7.5	367.0	
	畜産物	304.0	19.6	254.1	
		牛肉	215.7	24.4	173.4
		豚肉	2.0	▲ 15.9	2.3
		鶏肉	3.0	6.4	2.8
		鶏卵	3.0	▲ 87.0	23.0
		牛乳乳製品	27.0	▲ 48.8	52.7
	果樹・野菜等	195.0	0.2	194.6	
	果樹	りんご	17.2	▲ 33.9	26.1
		ぶどう	25.8	▲ 16.0	30.8
		もも	11.3	▲ 25.6	15.2
		かんきつ	6.6	0.6	6.5
		かき・かき加工品	5.6	▲ 13.9	6.5
		なし	8.7	23.2	7.1
	野菜	いちご	25.3	24.5	20.3
		かんしょ・かんしょ加工品	11.7	18.6	9.9
		ながいも	6.0	▲ 16.7	7.1
		メロン	2.0	▲ 15.2	2.4
		たまねぎ	0.4	▲ 11.2	0.5
	穀物等	213.5	5.6	202.2	
		米（援助米を含む）	12.5	21.8	10.3
		バックご飯	6.0	19.7	5.0
	その他農産物	684.1	28.8	531.0	
	緑茶	217.0	97.5	109.9	
	花き	5.2	0.6	5.2	
	切り花	2.2	▲ 18.2	2.7	
	植木等	2.2	63.4	1.3	
	たばこ	79.2	2.7	77.1	
加工食品	2,050.5	8.2	1,895.9		
	清涼飲料水	225.5	▲ 5.4	238.4	
	菓子（米菓を除く）	124.5	13.9	109.3	
	米菓（あられ・せんべい）	18.6	▲ 10.1	20.7	

品目		2025年	前年増減比 (%)	2024年			
農産物 (続き)	加工食品 (続き)	ソース混合調味料	167.9	6.8	157.2		
		味噌	14.8	16.5	12.7		
		醤油	44.5	13.1	39.4		
		アルコール飲料	682.6	15.4	591.7		
			日本酒	144.4	2.1	141.3	
			ウイスキー	358.6	18.2	303.4	
			焼酎（泡盛を含む）	6.2	3.5	6.0	
		農産物計	3,537.6	10.9	3,190.7		
		林産物	林産物計		94.7	6.9	88.6
				製材	15.6	56.0	10.0
合板	2.4			25.4	1.9		
丸太	3.4			24.8	2.7		
木製家具	22.7			2.7	22.1		
水産物	水産物（調製品を除く）		630.7	11.2	566.9		
		ぶり	55.4	26.3	43.9		
		たい	1.5	50.6	1.0		
		ホタテ貝	60.6	45.3	41.7		
		牡蠣	20.6	1.1	20.4		
		真珠（天然・養殖）	344.1	5.0	327.8		
		錦鯉	10.4	136.2	4.4		
		いわし	8.2	29.9	6.3		
		かつお・まぐろ類	9.7	20.9	8.0		
		さけ・ます	0.3	▲ 28.7	0.4		
		さば	31.3	100.9	15.6		
		さんま	0.2	188.3	0.1		
		すけとうたら	0.0	▲ 100.0	0.0		
		水産調製品		264.8	▲ 20.9	334.5	
			なまこ（調製）	34.3	▲ 25.3	45.9	
			練り製品	63.1	6.7	59.1	
			ホタテ貝加工品	54.5	▲ 39.5	90.0	
			牡蠣加工品	4.4	▲ 24.5	5.8	
		水産物計	156.2	▲ 82.7	901.4		
		農林水産物・食品	4,527.8	8.3	4,180.7		

(注) 貿易統計をもとに近畿農政局で作成

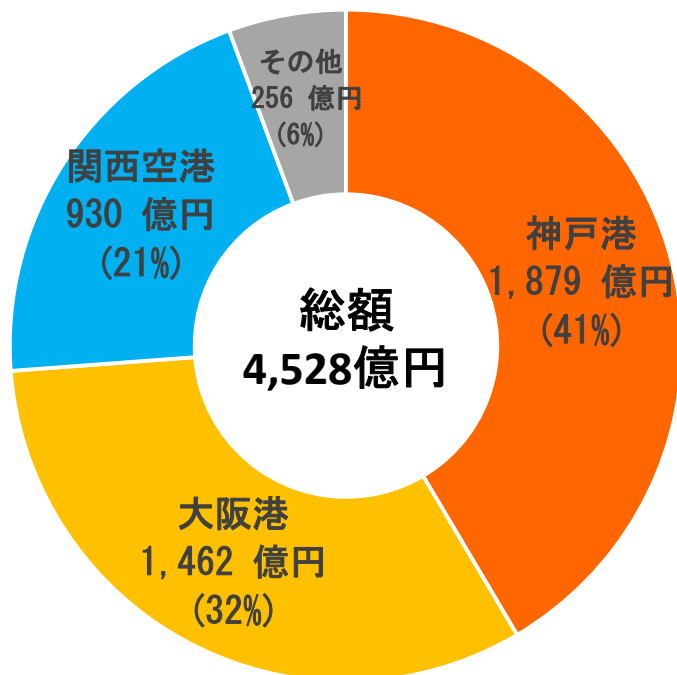
2 近畿農政局管内の港・空港からの輸出の状況



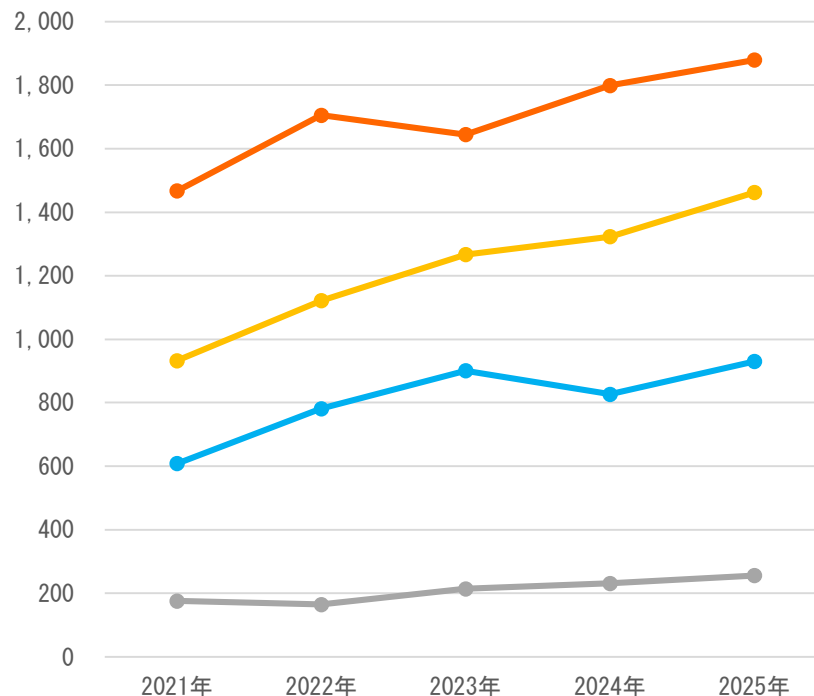
(3) 港・空港別の輸出額

○ 港・空港別にみると、神戸港、大阪港、関西空港の3港で輸出額約4,271億円（94.3%）を占めており、それぞれの輸出額は、神戸港が約1,879億円（41.5%）、大阪港が約1,462億円（32.3%）、関西空港が約930億円（20.5%）となっている。

港・空港別内訳（2025年1月～12月）



単位：億円



●神戸港 ●大阪港 ●関西空港 ●その他

(注) 貿易統計をもとに近畿農政局で作成
() 内は総額に占める割合

その他の港で輸出額が多いのは堺港（約95億円）、岸和田港（約87億円）、舞鶴港（約47億円）など

3 近畿農政局管内における輸出の取組

(1) GFP(農林水産物・食品輸出プロジェクト)【登録状況・訪問診断】

- 農林水産省は、平成30年8月31日に、農林水産物・食品の輸出に意欲的に取り組もうとする農林漁業者・食品事業者等のサポートや交流機会の創出等を図るGFPコミュニティサイトを立ち上げ。
- 近畿農政局は、ジェトロ等支援機関と連携し、平成30年11月からGFP登録者のうち、希望者に対する訪問診断を開始。令和8年4月末時点で、近畿管内のGFP登録者は1,522件、訪問診断は120回実施。

近畿管内のGFP登録者数（令和8年4月末時点）

単位：件	農林水産・食品事業者	流通事業者 物流業者等	計
全国	6,375	5,127	11,502
近畿	836	686	1,522
滋賀県	71	29	100
京都府	191	116	307
大阪府	207	339	546
兵庫県	206	142	348
奈良県	73	32	105
和歌山県	88	28	116

訪問診断の実績

- **令和3年度まで 62件（うちオンライン形式 23件）**
滋賀県6件(2)、京都府14件(5)、大阪府13件(7)、兵庫県17件(5)、奈良県5件(3)、和歌山県7件(1)
- **令和4年度 16件（すべてオンライン形式で実施）**
滋賀県3件、京都府6件、大阪府2件、兵庫県2件、和歌山県3件
- **令和5年度 27件（うちオンライン形式 16件）**
京都府8件(5)、大阪府2件(1)、兵庫県7件(6)、奈良県2件(1)、和歌山県8件(3)
- **令和6年度 14件（うちオンライン形式 11件）**
京都府5件(2)、大阪府4件(4)、兵庫県3件(3)、奈良県2件(2)
- **令和7年度 1件**
京都府1件

※府県別内訳のかっこ書きはオンライン形式による実施

3 近畿農政局管内における輸出の取組

(2) 輸出事業計画の認定状況



- 農林水産物・食品の輸出拡大のため、これらの生産、製造、加工又は流通の合理化、高度化その他の改善を図る事業に関する計画（輸出事業計画）について、農林水産大臣の認定を受けることができる。
- 令和8年3月末時点で、全国で587件の認定輸出事業計画を公表。うち近畿農政局管内は55件。

1	牛肉	滋賀県	近江牛輸出コンソーシアム	20	抹茶、調製食料品	京都府	株式会社高田通泉園	38	菓子	京都府	株式会社上尾製菓
2	牛肉	京都府	京都市中央食肉市場コンソーシアム	21	抹茶	京都府	D-matcha株式会社	39	菓子	京都府	王子食品株式会社
3	牛肉	大阪府	大阪市（大阪市中央卸売市場南港市場）	22	抹茶、清涼飲料・緑茶調製品	京都府	株式会社中村藤吉本店	40	菓子	京都府	有限会社井津美屋
4	牛肉	兵庫県	神戸食肉輸出コンソーシアム	23	抹茶	京都府	京都やましろ農業協同組合	41	コーヒーエキス、近江の茶エキス	滋賀県	ハニー珈琲株式会社
5	牛肉	兵庫県	和牛マスター輸出拡大コンソーシアム	24	コメ	滋賀県	全国農業協同組合連合会滋賀県本部	42	調味料、加工食品 日本酒	滋賀県	BIWAKO FOOD PRODUCT輸出促進協議会
6	牛肉	兵庫県	三田食肉センター輸出拡大コンソーシアム	25	コメ	滋賀県	滋賀蒲生町農業協同組合	43	食酢	京都府	株式会社飯尾醸造
7	りんご、ぶどう、かんしょ	兵庫県	神戸市（神戸市中央卸売市場本場）	26	米穀（無洗米）	大阪府	津田物産株式会社	44	乾麺	兵庫県	播州乾麺輸出拡大協議会
8	もも	和歌山県	和歌山県農業協同組合連合会	27	コメ	兵庫県	阪神米穀株式会社	45	乾麺	兵庫県	東亜食品工業株式会社
9	かんきつ	和歌山県	和歌山県農業協同組合連合会	28	養殖マグロ・タイ・ブリ・シマアジ	大阪府	株式会社シヨクシン	46	手延べそうめん	兵庫県	兵庫県手延素麺協同組合
10	柿	奈良県	奈良県農業協同組合	29	冷凍殻付かき	兵庫県	株式会社播磨灘	47	アイスクリーム	兵庫県	株式会社デザートプラン
11	柿	和歌山県	和歌山県農業協同組合連合会	30	養殖クロマグロ等	和歌山県	有限会社M&Eソリューション	48	豆・昆布製品	兵庫県	フジッコ株式会社
12	イチゴ、柿	奈良県	奈良県	31	はまち	和歌山県	株式会社丸徳水産	49	乾燥スープ・みそ汁	兵庫県	株式会社コスモス食品
13	長芋・キャベツ・ブロッコリー・かんしょ	兵庫県	台湾輸出拡大協議会	32	醤油	大阪府	大醬株式会社	50	即席めん	兵庫県	イトメン株式会社
14	切り花	奈良県	奈良県枝物輸出促進協議会	33	醤油	兵庫県	足立醸造株式会社	51	有機梅加工品	和歌山県	有限会社深見梅店
15	茶	滋賀県	一般社団法人滋賀県茶業会議所	34	醤油、醤油加工品	兵庫県	日本丸天醤油株式会社	52	みかんジュース	和歌山県	株式会社早和果樹園
16	有機茶・抹茶	京都府	株式会社播磨園製茶	35	醤油	奈良県	ニシキ醤油株式会社	53	日本酒	滋賀県	滋賀県酒造組合
17	茶	京都府	京都府農林水産物・加工品輸出促進協議会 宇治茶部会	36	醤油（加工品を含む）・味噌・糀（加工品を含む）	奈良県	株式会社井上本店	54	清酒及び清酒をベースとしたリキュール	京都府	松井酒造株式会社
18	緑茶	京都府	株式会社辻利一本店	37	菓子	京都府	株式会社和晃	55	ウイスキー	兵庫県	株式会社西山酒造場
19	茶	京都府	株式会社丸宗								

上記の輸出事業計画の詳細は、農林水産省HPに公表されています。
https://www.maff.go.jp/j/shokusan/export/gfp/yusyutsu_keikaku_kohyo.html

3 近畿農政局管内における輸出の取組

(3) 商談会準備セミナー・ワークショップ、加工食品輸出商談会の開催

輸出に取り組んでいる又は取組意欲のあるGFP登録事業者を対象に、加工食品の商談に向けたノウハウ習得に向けて開催。

- 商談会におけるバイヤー目線による商品選定のポイント等を学んでもらうための商談会準備セミナー
- 商談の際のポイントやプレゼンテーションの改善点等のアドバイスを受けるワークショップ
- 加工食品の魅力をアピールし、輸出拡大につなげるための加工食品輸出商談会

実施概要

◆2025年9月3日(水)・大阪市

【商談会準備セミナー】(参加22社/26名)

テーマ：バイヤー目線を見た商談準備のポイント

講師：ワオラボ株式会社 代表取締役 小粥 おさ美 氏

海外市場の情報収集の方法、バイヤーに選ばれる商品はバイヤーをよく知ることが重要など具体的な事例も交えて講演。

※参加者の96%が「満足」と回答

◆2025年9月3日(水)・大阪市

【ワークショップ】(参加19社/23名)

講師(4 商社：株式会社Double Doors、株式会社RLAM Trading、ワオラボ株式会社、株式会社ペンギン)が、参加事業者の模擬プレゼンテーションを受けて、実践向きの改善点等をアドバイス。

※模擬プレゼンテーション実施者の94%が「満足」と回答

◆2025年11月4日(火)・大阪市

【加工食品輸出商談会】(参加18社/22名)

主要な輸出先であるアジア各国・地域や米国、EU、中東、メキシコ等に販路を持つ国内商社7社を招聘し、事前マッチング形式で商談を実施。

※すべての商談参加事業者が「満足」と回答。約3か月後の商談状況は7社が協議継続中、6社が取引不成立。



4 輸出促進関連の補助事業による支援

- 令和8年度当初予算事業として、輸出先国規制対応支援事業を実施。
- 令和7年度補正予算事業として、食品産業の輸出向けHACCP等対応施設整備緊急対策事業を実施。
- 令和7年度補正予算事業として、GFP大規模輸出産地生産基盤強化プロジェクト事業を実施。

輸出先国規制対応支援事業（令和8年度当初）

日本産の農林水産物・食品の輸出を促進するため、輸出の障壁となっている施設認定や国際的認証の取得等、輸出先国から求められる規制への対応、輸出先国の規制の理解を向上させ、輸出への取組を促進するための研修の開催等に係る事業者の取組を支援。

【近畿管内で2事業者を採択】

食品産業の輸出向けHACCP等対応施設整備（緊急対策）事業（令和7年度補正・令和8年度当初）

食品製造事業者等が行う輸出先国等の規制・条件（食品衛生、ハラール・コーシャ等）に対応した施設の新設及び改修、機器の整備を支援。

【近畿管内で2事業者を採択】

GFP大規模輸出産地生産基盤強化プロジェクト（令和7年度補正） 大規模輸出産地モデル形成等支援事業（令和8年度当初）

規制の緩やかな輸出先への依存からの脱却を図るため、地域の関係事業者で組織する輸出推進体制の下、海外の規制・ニーズに対応した生産・流通体系への転換に取り組み、国内生産基盤の維持・強化を図る大規模輸出産地のモデル構築を集中的に支援。

【近畿管内で1事業主体を採択】

5 近畿農政局管内の優良事業者の表彰

- 我が国の農林水産物・食品の輸出に関する優良な取組を広く紹介することにより輸出促進を図るため、全国の輸出に取り組む事業者のうち、特に優れた事業者に対して平成28年度から表彰を実施。
- 近畿農政局においても、農林水産物・食品の輸出に取り組む事業者の輸出意欲を喚起し、管内の輸出を促進することを目的とし、平成30年度から優良事業者の表彰を実施。

輸出に取り組む優良事業者全国表彰受賞事業者 (近畿農政局管内)

- 令和7年度
(輸出・国際局長賞) 株式会社オカキブラザーズフーズ
(滋賀県蒲生郡竜王町)
- 令和6年度
(農林水産大臣賞) 和牛マスター輸出拡大コンソーシアム
(兵庫県姫路市)
(輸出・国際局長賞) 大吉商店株式会社 (滋賀県高島市)
" チョーヤ梅酒株式会社 (大阪府羽曳野市)
- 令和5年度
(農林水産大臣賞) 株式会社クボタ (大阪府大阪市)
(輸出・国際局長賞) 株式会社ヤマサン (京都府宇治市)
- 令和4年度
(輸出・国際局長賞) 梅乃宿酒造株式会社 (奈良県葛城市)
" 津田宇水産株式会社 (兵庫県たつの市)

近畿農政局輸出に取り組む優良事業者表彰 近畿農政局長賞受賞事業者

- 令和7年度
・株式会社ゆみるめ (大阪府大阪市)
- 令和6年度
・播州乾麺輸出拡大協議会 (兵庫県姫路市)
・瀬崎林業株式会社 (大阪府大阪市)
- 令和5年度
・株式会社小林順蔵商店 (大阪府大阪市)
・株式会社モトックス (大阪府東大阪市)
- 令和4年度
・兵庫県手延素麺協同組合 (兵庫県たつの市)
・ヤマサ蒲鉾株式会社 (兵庫県姫路市)



6 輸出証明書等の発行

(1) 近畿農政局管内で発行している輸出証明書

- 近畿農政局では、平成25年4月以降、輸出先国・地域からの求めに応じて事業者向けに以下の輸出証明書を発行している。

原発事故関連証明書（放射性物質検査証明書/産地証明書）／中国・韓国など

原発事故に伴う輸入規制に対応するため、輸出先国の求めに応じ、輸出する農林水産物・食品について、商品・貨物単位で、規制された都道府県以外で生産されたこと等を証する**原産地証明書**を発行。

また、輸出先国等により必要とされる場合には、輸出先国等の放射性物質基準に適合することを証する**放射性物質検査証明書**を併せて発行。

衛生証明書／ベトナム・台湾・EU等・英国・インド・韓国など タイ向けGMP証明書

輸出相手国・地域の規制に基づいた衛生に係る事項について適合していることを証する**衛生証明書**や**タイ向けGMP証明書**（タイ国のGMPに適合している旨を証するもの）を発行。

施設認定／タイ向け食品・青果物、インド・インドネシア・ニュージーランド向け水産物

輸出相手国・地域の規制に基づき、最終加工施設や最終保管施設等の施設が求められる条件に適合している場合に、その施設を認定登録し、**証明書**を発行。

自由販売証明書・製造所登録

小売店等で販売されている形態の食品を対象に、輸出先国の政府機関から提出を求められている場合に限り、日本国内で製造又は加工され、日本国内で流通可能な食品であることを証する**証明書**を発行。

また、自由販売証明の申請にあたり、輸出する商品の製造施設を事前に確認。

6 輸出証明書等の発行

(2) 近畿農政局管内における各種証明書の発行実績

原発関連証明書（令和7年度）

・ 中国	22,090件
・ 韓国	3,521件

衛生証明書（令和7年度）

・ ベトナム向け水産物	754件
・ 台湾向け貝類	177件
・ EU、英国向け水産物	230件
・ 韓国、インド等	166件

タイ向けGMP証明書等（令和7年度）

・ 食品・青果物	26件
----------	-----

施設認定（令和7年度）

・ タイ向け食品・青果物	15件
・ インド向け水産物	2件
・ インドネシア向け水産物	1件
・ ニュージーランド向け水産食品	2件

自由販売証明書（令和7年度）

・ 発行件数	650件
--------	------

※特定の国向けに発行するものではない。